

# 横浜電子情報工学会 会報

## 平成 16 年 5 月 17 号



— 学位記授与式の後で — 平成 16 年 3 月 25 日撮影

最新版会員名簿発行！  
詳しくは目次ページ(裏面)  
をご覧ください

## 目 次

	ページ
横浜電子情報工学会会長挨拶	稻田 浩一 1
電子情報工学科長・大学院工学府物理情報工学専攻 電気電子ネットワークコース長挨拶	新井 宏之 1
菅原先生を送る言葉	吉川 信行 2
会費納入についてのお願い	稻田 浩一 2
会社探訪 ルネサステクノロジー	月森 昭文 3
電子情報工学科の現状	4
平成16年3月卒業生の進路	5
横浜電子情報工学会役員名簿	6
クラス幹事名簿	6
維持会費納入者名簿	7
平成15年度会計報告	竹村 泰司
	土肥 康孝 8
通信用紙	
(別紙)	
平成16年度総会、懇親会のご案内	稻田 浩一
平成16年度総会、懇親会会場案内図	

### 会員名簿第17号の発行のご案内

横浜電子情報工学会 学内幹事  
吉川 信行

会員名簿の最新版（第17号）を本年3月に発行いたしました。会員の方には、会の規約によって3,000円で販売いたしますので、是非お申ください。

名簿第17号価格： 1冊 3,000円（送料は本会が負担します）

お申込方法： この会報に同封しました振込用紙に必要事項を記入して、郵便局または銀行窓口へお出しください。

また、以下のホームページからも購入可能です。

<http://www.dnj.ynu.ac.jp/DNJ/DNJ-OBs-j.html>

今回の名簿掲載会員数が4,900名を超えるました。名簿発行に際しましては出来るだけ会員の方の最新情報を盛り込む努力をいたしましたが、それでも連絡先不明の方がおられます。同級生などで名簿に載っていない方の連絡先をご存知の方は、事務局までお知らせください。（本会報最終ページの「通信用紙」をご利用ください）

## 横浜電子情報工学会 会長 挨拶

稻田 浩一（昭和 38 年卒）



我々電子情報業界を取り巻く環境は、携帯電話、デジカメ、DVD、液晶、プラズマテレビなどのいわゆるデジタル家電が好調で、多くの会社が赤字に陥った昨年の状態から一転、V 字回復をしつつあります。嬉しいかぎりであります。また、ADSL や光ファイバによるブロードバンド通信が急速に普及し、多くの人がその便利さを享受しております。大学におきましても、独立法人化や TLO など、かなり定着しつつあり、民間との交流も活発になっております。また、横浜国大の各々の学科や研究室のホームページが充実しつつあり、研究内容がより身近に感ずるようになってまいりました。その他、発明の代償に付いても特に電子情報関連で多くの裁判が行われ、現在のところ、かなり高額な判例が示されております。結果はともかく、発明への関心が高くなつたのは日本にとって好ましいことであります。

さて、我々の総会も 7 月の第二土曜日の 10 日を昨年同様、予定しております。また、総会を活発化させるため一昨年から卒年次で 10 年間隔の実行委員が組織され、比較的若い方の出席も多くなりつつあります。今年も奮って多数の方々のご参加を頂きますようお願い致します。

## 電子情報工学科長

大学院工学府物理情報工学専攻電気電子ネットワークコース長 挨拶

新井 宏之



本学は平成 16 年 4 月から独立行政法人である、国立大学法人横浜国立大学として新たなスタートとなりました。これに伴い、様々な規則の改定や施設の改修などが行われ、教官も教員として勤務しております。今後は厳しい競争の中で教育・研究を充実するためさらなる努力が求められることになります。同窓会の皆様には引き続き暖かいご支援と、本学発展のため、ときには厳しい視点に立った助言をいただきたいとお願いする次第です。

さて、学科・コースの近況をご報告します。本年 3 月の卒業生数と主な就職先はこの会報に掲載されていますので、そちらをご覧下さい。教員の移動ですが、独立行政法人化に伴い大きなものとなりました。平成 15 年 4 月に落合秀樹助手、原亮一助手が着任され、平成 16 年 3 月に菅原昌敬教授が定年退官され、盧柱亨助手が退職されました。平成 15 年 10 月には羽路信夫助教授が教授に、落合秀樹助手が講師に、平成 16 年 4 月には吉川信行助教授が教授に承認されました。また、平成 16 年 4 月に高橋富士信教授、濱上知樹助教授、久我宣裕講師、藤本博志講師が着任されました。事務職員では平成 15 年 12 月に高橋知香子さん、青木洋子さんが退職され、平成 16 年 1 月に高野裕子さん、宮崎佳奈子さんが着任されています。

最後に本学科の教育研究についてですが、平成 15 年度に入学した学生から GPA(Global Point Average)を導入し、より厳格な成績管理の下教育効果を上げるべく努力いたしております。また、21 世紀 COE プログラム「情報通信技術にもとづく未来基盤創生」も順調に活動をつづけており、年率にして 20% 程度の研究成果の伸びを実現しておりますので今後ともご支援よろしくお願いします。

## 菅原先生への「送る言葉」

吉川 信行



菅原昌敬先生は、昭和43年に横浜国立大学工学部電子情報工学科にご着任され、36年間の永きにわたり本学の教育研究のために尽くされました。教育面では主に、電子物性や電子工学等の科目をご担当されました。また、研究面では超伝導エレクトロニクス分野の発展のために貢献なさいました。特に超伝導物質や超伝導デバイスにおける量子現象に関するフロンティア的研究を推進し、数々の先駆的研究業績を残されております。以上の研究成果は、国内だけでなく海外からも高く評価され、2004年にはロシア科学院アカデミー外国会員の称号を授与されました。

先生の研究スタイルを推察すると、「人の歩いた道は絶対に歩かない」ということだと思います。常に、新たな視点で現象を考察し、新たな理論を展開される先生の研究スタイルは、我々も一研究者として大きな刺激を受けました。

一方、研究室では、先生の持ち前の明るさで我々学生達を暖かく親切にご指導され、楽しく自由な気風の中で活気に満ちた教育をなさってこられました。よく先生が我々に、「皆、卒業したら社長を目指して頑張るように」と叱咤激励されたのが思い出されます。先生は、海外旅行、外国语、気功、自転車など、多彩な趣味を持たれ、お昼休みには先生を囲んで色々なお話を伺いました。

菅原先生におかれましては、長い間、本学のためにご尽力下さりありがとうございました。先生の益々のご健勝と今後のご活躍をお祈り申し上げます。我々卒業生も皆、社長?を目指して頑張りたいと思います。

## 会費納入についてのお願い

横浜電子情報工学会 会長 稲田 浩一

電子情報工学会では、今後も会員相互の親睦を図ると共に母校の電子情報工学科の発展に寄与する積極的な活動を展開したいと考えております。しかし、これまでにもご説明致しましたが、一般会計の赤字は避けられない見通しであり、本会の財政はまさに危機的な状況が続いている。この財政危機は支出に見合った収入が得られていないことが原因であり、これまでの会計報告に示されていますように、会報発行、会員名簿データベースの維持管理、会員名簿の発行、総会の開催、および毎年の成績優秀卒業生の表彰などの主要事業を継続するだけでも赤字となり次年度繰越金が減り続けております。

役員会に於いて打開策の検討を重ね、支出削減のための種々の方策を進めるとともに、会員の皆様に支出に見合った応分の負担をお願いせざるを得ないという結論に達し、平成5年総会にて会費徴収を主とする会則改正案を可決して戴き、6年度より会員の皆様に年額2,000円の年会費の納入をお願い申し上げております。しかし、未だ財政危機を乗り越えるために十分なご納入に至っておりません。つきましては、本会の状況をご理解戴き、是非とも会費納入にご協力下さいますようお願い申し上げます。

なお、維持会員制度も継続しておりますので、振込用紙の金額欄に納入費目に相当する金額をご記入下さいますよう、重ねてお願い申し上げます。

## 年会費および維持会費の払込方法

平成9年度から年会費を銀行（または郵便局）自動引落で納入していただけるようになりました。同封の用紙に必要事項を記入いただき、ご返送いただければその後は面倒な手続きなしに毎年会費が引き落とされるようになります。是非ご利用下さいますようお願い申し上げます。なお、従来どおりの方法（郵便振替／銀行振込）による納入も受け付けております。従来どおりの方法で納入される場合は、同封の郵便振替用紙にご記入の上（年会費2,000円、維持会費1口10,000円）、最寄りの郵便局または銀行にて手続きをお願い致します。

月森 昭文（平成 8年卒業）

## ■ Everywhere you imagine

あなたが想像するところ、そのすべての場所にルネサスが存在します。そして、ユビキタスの時代へ。ルネサステクノロジは、世界中の人々の生活のいたるところに存在することで、安心・快適・夢を支え続けます。

ルネサステクノロジは、2003年4月1日、日立製作所と三菱電機の半導体部門を分離・合併させることで誕生しました。その事業ミッションの最上位に位置するもの、それは、世界市場をリードする、我が国半導体産業の復興に他なりません。市況商品としての半導体市場において苦戦を強いられているからといって、我が国半導体産業の技術力の高さ、システム全体としてのソリューション能力の高さは、まったく揺らぐことはありません。世界における情報技術革新は新たなフェイズに突入し、地球上のあらゆる人々が、あらゆる場所で、もっと簡単に、もっと便利に“つながりあえる”、ユビキタスネットワーク社会の到来が目前に迫っています。ルネサステクノロジは、“インテリジェントチップソリューション”によって、来るべきユビキタスネットワーク社会をリードしていきます。それは、”Made in Japan” の威信を賭けた壮大な実験であり、日本の製造業の未来を切り拓くチャレンジでもあるのです。

## ■ Power of Breakthrough

ルネサスでは「自分のアイディアを社会へコミットして行きたい」「デバイス開発を通じて社会へのプレゼンスを發揮したい」という熱き思いを持った人材を求めていきます。「自立的企業人」として、自分の頭で考え、形ある「何か」を創造する準備ができている人。もっと簡単にいうなら、論理的に物事を考える方法を身につけ、自分の考えを具体化する事ができる人。そういう素質がある人に来ていただきたいし、そんな人たちが活躍できる会社だと考えています。

ルネサステクノロジは2003年4月に設立された新しい会社です。決まったカラーや社風はありません。「プロフェッショナルな企業人として国際的な大舞台で活躍したい」「誰もした事のないような大きな仕事をして社会に貢献したい」「変化の激しいハイテク分野で自分のキャリア<sup>↑</sup>を伸ばしたい」と考えている方とお会いできるのを楽しみにしています。

事業内容等詳細につきましては是非ホームページをご覧ください。

<http://www.renesas.com/jpn/index.html>